

III-(2)-9. あなたは、以下の障害のある学生に対して、日程の変更・調整（例：1回の試験を2日間にわたって受験するように変更する）が許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(2)-10. あなたは、以下の障害のある学生に対して、試験や課題を代替するための、別の形式や手段（例：筆記試験の代わりに、口頭試問を行う）が提供されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(2)-7. あなたは、以下の障害のある学生に対して、試験における時間延長が許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(2)-8. あなたは、以下の障害のある学生に対して、別室で試験を受けること（例：静かな部屋の利用）が許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

資料 A

III-(2)-5. あなたは、以下の障害のある学生が、試験中に回答や小論文、計算過程を筆記するために、ワープロを利用することが許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(2)-6. あなたは、以下の障害のある学生が、試験中に回答や小論文、計算過程を筆記するために、人間の代筆者がその学生の代わりに代筆することが許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

資料 A

III-(2)-3. あなたは、以下の障害のある学生が試験を受ける際、その学生が音声読み上げソフトウェアを用いて問題文を読むことが許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(2)-4. あなたは、以下の障害のある学生が試験を受ける際に、人間の代読者が問題文を代読して、その学生に伝えることが許可されることは、どの程度、合理的であると考えますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

### III-(2) 障害支援サービスに対する合理性の主観的評価

以下の質問では、文中に登場する障害のある学生は、そのサービスの提供を求めていると仮定して回答してください。

III-(2)-1. あなたは、以下の障害のある学生に対して、文書（例：教科書や資料，試験）を代替フォーマット（例：点字，録音，コンピュータのテキストファイル）に変換するサービスが提供されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

「合理的ではない」を「1」，「非常に合理的」を「5」としたとき，該当する合理性の程度を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(2)-2. あなたは、以下の障害のある学生に対して、支援技術利用の研修が提供されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(1)-10. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生に対して、試験や課題を代替するための、別の形式や手段（例：筆記試験の代わりに、口頭試問を行う）を提供していますか？

「許可されない」を「1」，「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(1)-11. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生と教員がともに活動するために、教員研修や技術的援助（例：障害学生支援を担当する職員が、ある障害学生のための配慮内容を、ある教員に対して説明する）を提供していますか？

「提供されない」を「1」，「常に提供される」を「5」としたとき、該当する提供状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

資料 A

**III-(1)-8.** あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生に対して、別室で試験を受けること（例：静かな部屋の利用）を許可していますか？

「許可されない」を「1」、 「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

**III-(1)-9.** あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生に対して、日程の変更・調整（例：1回の試験を2日間にわたって受験するように変更する）を許可していますか？

「許可されない」を「1」、 「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

資料 A

III-(1)-6. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生が、試験中に回答や小論文、計算過程を筆記するために、人間の代筆者がその学生の代わりに代筆することを許可していますか？  
(他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください)

「許可されない」を「1」、 「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(1)-7. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生に対して、試験における時間延長を許可していますか？

「許可されない」を「1」、 「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

資料 A

III-(1)-4. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生が試験を受ける際に、人間の代読者が問題文を代読して、その学生に伝えることを許可していますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

「許可されない」を「1」，「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(1)-5. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生が、試験中に回答や小論文、計算過程を筆記するために、ワープロを利用することを許可していますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

「許可されない」を「1」，「常に許可される」を「5」としたとき、該当する許可状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

資料 A

III-(1)-2. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生に対して、支援技術利用の研修を提供していますか？

「提供されない」を「1」，「常に提供される」を「5」としたとき，該当する提供状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

III-(1)-3. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生が試験を受ける際、その学生が音声読み上げソフトウェアを用いて問題文を読むことを許可していますか？（他の生徒は紙と鉛筆の試験を受けていると仮定して回答してください）

「許可されない」を「1」，「常に許可される」を「5」としたとき，該当する提供状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

### III. 障害学生支援サービスの提供とその合理性

#### III-(1) サービスの提供

以下の質問では、文中に登場する障害のある学生は、そのサービスの提供を求めていると仮定して回答してください。

III-(1)-1. あなたの所属する教育機関は、以下の障害のある学生に対して、文書（例：教科書や資料，試験）を代替フォーマット（例：点字，録音，コンピュータのテキストファイル）に変換するサービスを提供していますか？

「提供されない」を「1」，「常に提供される」を「5」としたとき，該当する提供状況を選んでください。

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱

**II-9. 障害学生のコンピュータ利用をサポートする業務に特別に割り当てられた、学生アルバイトまたは職員はいますか？**

はい・いいえ

上記 II-9 の回答が「はい」の場合、その学生または職員の中に、障害のある当事者が含まれていますか？

はい・いいえ

**II-10. あなたは自分自身のコンピュータ利用に関する現在のスキルをどの程度だと感じておられますか？**

「非常に低い」を「1」，「非常に高い」を「5」としたときに、該当するものを選んでください。

資料 A

- ・ そうした計画を立ち上げたり実現するための委員会が学内にない
- ・ 障害のある学生に、コンピュータを利用することへの関心がない
- ・ 支援技術を選択・サポートする専門家がない
- ・ その他

II-6 で、「その他」の障壁に「明らかな障壁でない 1」以外の回答をされた場合のみ、お答えください。具体的にはどのような障壁ですか？（自由記述）

**II-7. 支援技術が提供された場合、以下の障害のある学生がコンピュータを生産的に利用する力は、一般的にどの程度であると考えますか？**

「非常に低い」を「1」，「非常に高い」を「5」としたときに、該当する程度をそれぞれの障害種別について選んでください。

- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 肢体不自由
- ・ 学習障害

**II-8. あなたは、以下に挙げた障害のある個人が学業において成功を収めるために、コンピュータの利用は、どの程度貢献できると思いますか？**

「全く貢献しない」を「1」，「大きく貢献する」を「5」としたときに、該当するものをそれぞれの障害種別について選んでください。

- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 肢体不自由
- ・ 学習障害

資料 A

**II-5b.** 支援技術の提供に関する、あなたの所属する教育機関の一般の方針をお答えください。該当するものすべてにチェックをつけてください。

**II-5a-1 から II-5a-4 までの質問で、キャンパス内で利用できる支援技術がなかった場合、「支援技術は提供していない」にチェックをつけてください。**

- ・ 支援技術は提供していない
- ・ 障害学生は、提供・貸出された支援技術製品を自宅に持ち帰って使用できる
- ・ 障害学生は、障害学生向けの特別な施設内で支援技術製品を使用する
- ・ 障害学生は、ほかのすべての学生が使用する設備と同じ場所で、支援技術製品を使用する
- ・ その他（自由記述）

**II-5c.** 以下に示した障害学生が支援技術製品を使用する場所それぞれについて、あなた自身はどの程度、望ましいと感じますか？

「望ましくない」を「1」、 「大変望ましい」を「5」としたときに、該当するものをそれぞれの場所について選んでください。

- ・ 障害学生は、提供・貸出された支援技術製品を自宅に持ち帰って使用できる
- ・ 障害学生は、障害学生向けの特別な施設内で支援技術製品を使用する
- ・ 障害学生は、ほかのすべての学生が使用する設備と同じ場所で、支援技術製品を使用する

**II-6.** あなたが所属する機関のキャンパス内では、以下に挙げた項目それぞれが、障害のある学生へコンピュータ関連サービスを提供する上で、どの程度明らかな障壁となっていますか？

「明らかな障壁でない」を「1」、 「非常に明らかな障壁である」を「5」としたときに、該当するものをそれぞれの障壁について選んでください。

- ・ 財源の不足
- ・ コンピュータ関連サービスを提供するセンターやその他の部署間を調整する作業が難しいこと
- ・ 管理運営側にコミットメント・関心がない

資料 A

- ・ 肢体不自由のある学生が図書館のオンライン・システムへアクセスできるようにサポートする（少なくとも1台の）コンピュータ
- ・ 肢体不自由のある学生がインターネットへアクセスできるようにサポートする（少なくとも1台の）コンピュータ
- ・ その他

II-5a-2で「その他」に「利用できる」と答えた場合のみ、それが何かをお答えください（自由記述）。

**II-5a-3.** 以下のリストは、学習障害のある学生向けの、支援技術のリストです。あなたが所属する教育機関のキャンパス内で、学習障害のある学生が利用できるものをすべてチェックしてください。

- ・ コンピュータの画面に表示されたテキストを読み上げる音声合成ソフトウェア
- ・ コンピュータの画面上の文字を拡大するソフトウェアまたはモニター
- ・ 少ない入力から単語を予測入力するソフトウェア
- ・ OCR（光学文字認識：印刷物の文字をテキストファイルに変換する機器またはソフトウェア）
- ・ 概念をマッピングする／まとめるソフトウェア
- ・ 学習障害のある学生が図書館のオンライン・システムへアクセスできるようにサポートする（少なくとも1台の）コンピュータ
- ・ 学習障害のある学生がインターネットへアクセスできるようにサポートする（少なくとも1台の）コンピュータ
- ・ その他

II-5a-3で「その他」に「利用できる」と答えた場合のみ、それが何かをお答えください（自由記述）。

**II-5a-4.** ここに上げた視覚障害、肢体不自由、学習障害のある学生に対するもの以外に、支援技術がキャンパス内で利用可能である場合は、対象となる障害の種別・内容と、利用可能な支援技術について、自由に記述してください。

資料 A

**II-5a-1.** 以下のリストは、視覚障害のある学生向けの、支援技術のリストです。あなたが所属する教育機関のキャンパス内で、視覚障害のある学生が利用できるものをすべてチェックしてください。

- ・ コンピュータの画面に表示されたテキストを読み上げる音声合成ソフト
- ・ コンピュータの画面上の文字を拡大するソフトウェアまたはモニター
- ・ 点字ディスプレイ
- ・ 点字プリンタ
- ・ 点字または拡大印刷されたユーザ・ガイド（マニュアル）や資料
- ・ OCR（光学文字認識：印刷物の文字をテキストファイルに変換する機器またはソフトウェア）
- ・ 拡大読書器（印刷された文書を拡大表示するための装置）
- ・ 視覚障害のある学生が図書館のオンライン・システムへアクセスできるようにサポートする（少なくとも1台の）コンピュータ
- ・ 視覚障害のある学生がインターネットへアクセスできるようにサポートする（少なくとも1台の）コンピュータ
- ・ その他

II-5a-1 で「その他」に「利用できる」と答えた場合のみ、それが何かをお答えください（自由記述）。

**II-5a-2.** 以下のリストは、肢体不自由のある学生向けの、支援技術のリストです。あなたが所属する教育機関のキャンパス内で、肢体不自由のある学生が利用できるものをすべてチェックしてください。

- ・ 小型または拡張（大型）キーボード
- ・ キーガード
- ・ 特殊なスイッチによるモールス入力
- ・ 特殊なスイッチによるスキャン入力
- ・ 音声入力
- ・ 少ない入力から単語を予測入力するソフトウェア
- ・ 略語や短縮入力を展開して単語に変換するソフトウェア
- ・ 固定キーソフトウェア
- ・ マウスを代替する特殊な装置（例：トラックボール）

資料 A

- ・ 行政機関
- ・ その他

II-3 で、「その他」の部署等が関わると回答された場合のみ、お答えください。  
具体的には、どの部署が関わっていますか？（自由記述）

**II-4. あなたが所属する教育機関では、キャンパス内の障害のある学生個人のための、コンピュータ関連サービスの予算負担に、以下の関係者はどの程度関わっていますか？**

「全く負担しない」を「1」，「すべてを負担する」を「5」としたときに、該当するものをそれぞれの関係者について選んでください。

- ・ 障害学生本人
- ・ 障害学生支援サービスを提供する学内の部署
- ・ コンピュータ関連サービスを提供する学内センター
- ・ 部局（学部）内のコンピュータ関連サービスを提供する部署
- ・ 教員
- ・ 図書館サービス
- ・ 行政機関
- ・ その他

II-4 で、「その他」の部署等が関わると回答された場合のみ、お答えください。  
具体的には、どの部署が関わっていますか？（自由記述）

**II-2. あなたが所属する教育機関のキャンパス内では、障害のある学生個人に対して、どのようなコンピュータ関連サービスが提供されるかが最初に選択される際に、以下の関係者はそれぞれどの程度、関わっていますか？**

「全く関わらない」を「1」、 「深く関わる」を「5」としたときに、該当するものをそれぞれの関係者について選んでください。

- ・ 障害学生本人
- ・ 障害学生支援サービスを提供する学内の部署
- ・ コンピュータ関連サービスを提供する学内センター
- ・ 部局（学部）内のコンピュータ関連サービスを提供する部署
- ・ 教員
- ・ 図書館サービス
- ・ 行政機関
- ・ その他

II-2 で、「その他」の部署等が関わると回答された場合のみ、お答えください。

具体的には、どの部署が関わっていますか？（自由記述）

**II-3. あなたが所属する教育機関では、キャンパス内の障害のある学生個人のための、コンピュータ関連サービスの日常管理に、以下の関係者はどの程度関わっていますか？**

「全く関わらない」を「1」、 「深く関わる」を「5」としたときに、該当するものをそれぞれの関係者について選んでください。

- ・ 障害学生本人
- ・ 障害学生支援サービスを提供する学内の部署
- ・ コンピュータ関連サービスを提供する学内センター
- ・ 部局（学部）内のコンピュータ関連サービスを提供する部署
- ・ 教員
- ・ 図書館サービス

**I-6. あなたの職務の肩書きに該当するものを選んでください**

- ・ 障害学生支援サービスを主な職務とするスタッフ
- ・ 一般的なコンピュータ関連サービスの提供に関わる部署のスタッフ
- ・ 障害に関わる課目・コースに所属する教員
- ・ コンピュータ利用に関わる課目・コースに所属する教員
- ・ その他（自由記述）

**I-7. あなたの所属する教育機関には、機関内の障害学生支援に対するサービスまたは方針を示した文書（一般公開されたもの）またはウェブサイトがありますか？**

はい いいえ その他（自由記述）

**I-8. あなたの所属する教育機関では、障害のある学生への、試験における配慮の方針を定めていますか？**

はい いいえ その他（自由記述）

**II. 障害のある学生に対するコンピュータ関連サービス**

**II-1. 以下の障害のある学生向けのコンピュータ関連サービスのうち、あなたが所属する教育機関のキャンパス内で提供されているものがあれば、該当するものすべてにチェックしてください**

以下の「支援技術製品」とは、コンピュータアクセスを助ける道具や装置、ソフトウェア全般を意味します。

- ・ キャンパス内施設でのコンピュータ利用を助ける支援技術製品
- ・ 支援技術製品の選択や使用に関する相談サービス
- ・ 支援技術関連の装置またはソフトウェアの使用に関する研修
- ・ 障害のある学生のための、コンピュータのユーザグループ・支援グループ
- ・ 支援技術関連の装置またはソフトウェアの販売
- ・ 学生が所持している支援技術製品の修理
- ・ 障害のある学生への支援技術製品の有償または無償での貸出
- ・ その他（自由記述）

## 高等教育での障害学生支援サービスとその合理性評価

### I. 基礎的な情報に関する質問

#### I-1. あなたが所属する教育機関の種別

大学・短期大学・高等専門学校・その他（自由記述）

#### I-2. あなたが所属する教育機関の公私の別

公立・私立

#### I-3. あなたが所属する教育機関に、現在所属している全学生数

1000名以下・1001-5000名・5001-10,000名・10,001-15,000名・15,001-20,000名・20,001名以上

#### I-4. あなたの所属する教育機関に現在所属している、障害のある学生の総数

0名・1-25名・26-50名・51-100名・101-200名・201名以上

#### I-5. あなたの所属する教育機関には、障害学生支援サービスを提供する専門のスタッフはいますか？または専門の部署がありますか？

- ・はい
- ・いいえ、その他の、一般的な職務を持つ部署がサービスを提供しています
- ・いいえ、教員がサービスを行います・いいえ、特別なサービスは何も提供されません
- ・その他（自由記述）

I-5で、「いいえ、その他の、一般的な職務を持つ部署により障害支援サービスが提供されます」を選択された場合のみ、お答えください。

具体的にはどの部署により提供されますか？（自由記述）

III-(2)-11. あなたは、以下の障害のある学生とともに活動するために、教員研修や技術的援助（例：障害学生支援スタッフが、ある障害学生のための配慮内容を、教員に対して説明する）が提供されることは、どの程度、合理的であると考えますか？

- ・ 肢体不自由
- ・ 弱視
- ・ 全盲
- ・ 学習障害
- ・ 難聴
- ・ ろう
- ・ 自閉症スペクトラム障害
- ・ 精神障害
- ・ 注意欠陥障害
- ・ 内部障害・病弱